

平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

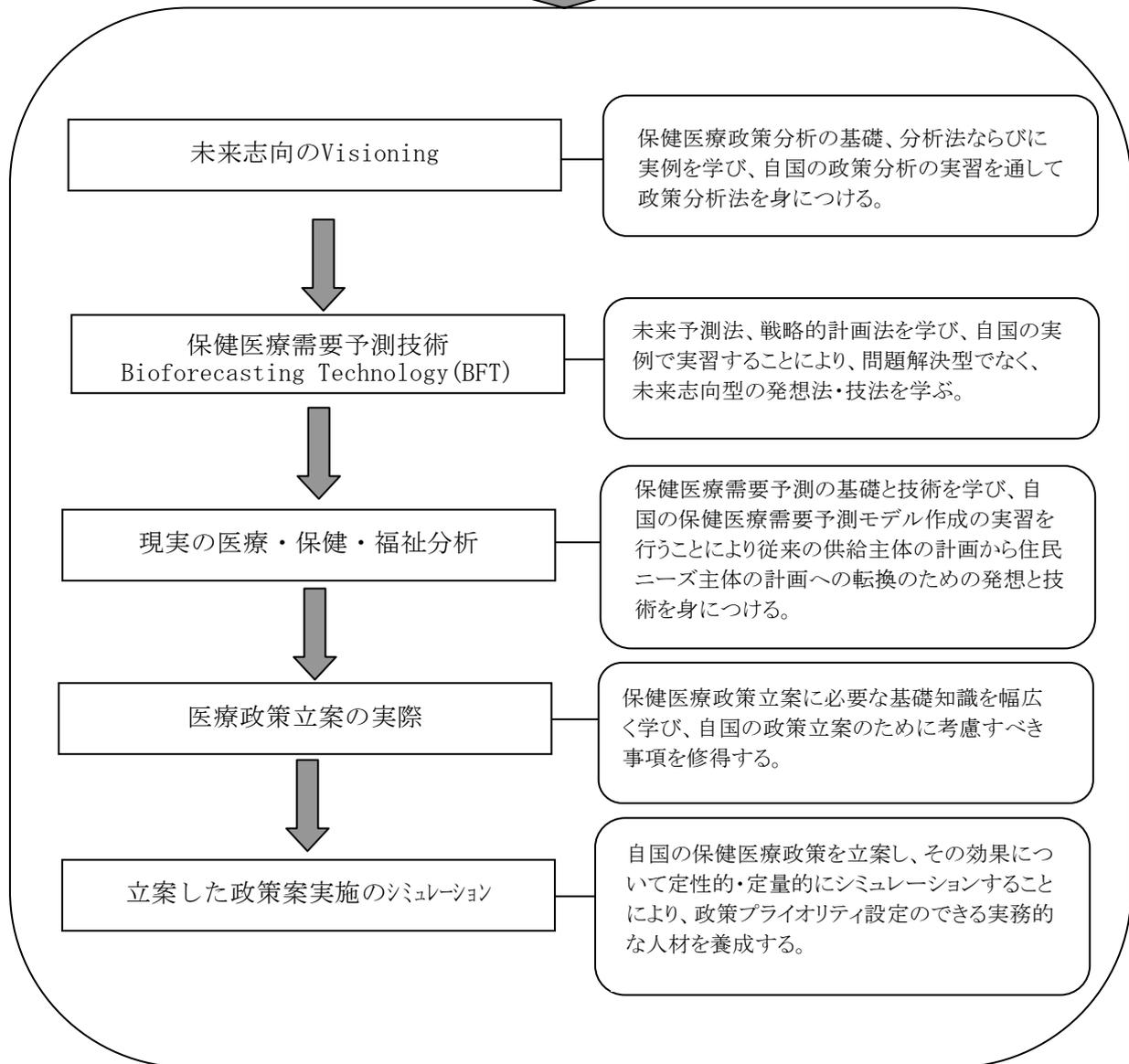
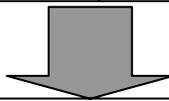
◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	東海大学	整理番号	c018
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	将来予測国際保健指導者養成コース		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) (公衆衛生・健康科学、衛生学、医療社会学)		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (国際保健学、保健医療行政、医療情報学、医療管理学、医学統計学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 <small>([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)</small>	(主たる研究科・専攻名) 医学研究科・先端医科学専攻[博士課程]	研究科長(取組代表者)の氏名 猪子英俊	
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>発展途上国における医療政策の立案は重要であり、急務となっている。本申請の将来予測国際保健指導者養成コースは、主に発展途上国の政府・行政官を対象とした保健指導者の養成であり、これまで本学が行ってきた独創的な国際貢献活動を2年間の教育・研究活動として強化させるものである。</p> <p>本活動の当初2年間に関わる申請経費は補助金を予定しており、教員組織の整備は任期制で行うことにしているの、特に学内で大きな制度変更を要しないことから、本学では、保健医療政策の発展と国際貢献の観点から教育・研究活動運営上で積極的に本申請の活動を支援する。また、2年間の補助事業終了後は、2年間の実績の上に立って、教員組織を変更せず本プログラムが確実に実行できるように継続的に支援する。</p>			

機 関 名	東海大学	整理番号	c018
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p>保健医療需要の予測は、1)人口の変化予測、2)罹患状況の変化予測の2つの変化予測を元に、将来の疾病構造の変化、重点医療項目の変化を予測するものである。人口予測については、予測手法はほぼ確立されており、変化要因を注意深く精査しておけば精度の高い予測はさほど困難ではない。問題は罹患状況の変化予測であり、それにはまず現状の罹患状況を生み出している自然環境、社会・経済環境、生活環境、医療環境を分析する必要がある。一方、将来の変化要因としては政策プライオリティ、社会・経済開発傾向、技術開発影響などを考慮する必要がある。わが国においては、昭和61年より各都道府県に保健医療計画を策定することが求められ、5年ごとに見直しを行なうなど保健医療需要の把握・予測は実施されてきている。しかしながら発展途上国においては、保健医療計画の策定は困難であり、その基礎となる保健医療需要の予測はまったく行なわれていない状況にある。</p> <p>本学においては、1996年より4～5週間の「東海大学WHO協力21世紀保健指導者養成コース」を毎年実施し、この中でわが国の保健医療計画に応用されている「保健医療需要予測技術」(Bioforecasting Technology=BFT)を講義している。発展途上国では、保健医療情報が完備していないため、直ちに本技術を自国に応用することが困難である。そのため、本講義では予測技術の基礎を学ぶこと、およびわが国の保健医療計画に実際に使用されているデータを用い、シミュレーションを行なわせるなどの工夫を行なっている。</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>本申請においては、上記のように東海大学がこれまで行なってきた4～5週間の「東海大学WHO協力21世紀保健指導者養成コース」を、東海大学大学院医学研究科に組み入れ、発展、強化するものである。特に、海外から要請の大きい保健医療需要予測技術を体系的に学び、各国の保健医療需要予測モデルを作成できるところまで、具体的に指導を行なうことを企図している。また、保健医療需要予測のためには、予測精度を左右する社会・経済領域への深い見識、実際的な統計学技量等学際的能力を必要とすることから、国際的に門戸を広げた学際的大学院となる。海外からの留学生を含め、国内外からの入学希望者を募る。そのため、講義は全て英語とし、研究指導も英語で行なう。</p> <p>保健医療分野においては、欧米の教科書をなぞる教育が主流であり、ひとを見ずして疾病を診る立場が科学的とされてきた。しかしながら、地域保健・医療を考えると、どのような病気にかかり、どう対処しているかを考える必要がある。それらは、各国の、そして地域の政治・経済・文化・宗教・伝統・習慣に密接に関連している。現在の罹患状況を把握し、将来予測を行なうには、先進国からの単なる技術移転ではなく、これら各国の背景を踏まえた上で、対処できる人材の育成が必要であると考えられる。</p>			

6. 履修プロセスの概念図

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○疫学 ○医療情報学 ○医療統計学 ○Evidence-Based Medicine ○臨床疫学 ○地球環境学 ○環境衛生学 ○産業保健 | <ul style="list-style-type: none"> ○母子保健 ○老人保健 ○地域保健学 ○感染症 ○非感染性疾患 ○生活習慣病 ○リスク管理 ○医の倫理 |
|---|--|



機 関 名	東海大学	整理番号	c018
<p data-bbox="165 199 588 232">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="165 293 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 533 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 857">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 918 633 952">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="172 967 1428 1189" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="172 967 1428 1093">・「東海大学WHO協力21世紀保健指導者養成コース」におけるこれまでの実績を活かし、開発途上国におけるJICA支援保健指導者を養成しようとする取組は、国際貢献の観点からも評価でき、実現性も期待できる。 <li data-bbox="172 1108 1428 1189">・なお、教育プログラムの運用に当たり、コースワーク、教員組織の充実などの面で、更なる工夫が必要である。 			